

平成27年度 一般会計 予算 (主な質疑)

総質疑数 277 件
・本会議 136 件
・委員会 141 件

まちづくり・くらし

職員研修 スキルアップの 機会

問 職員研修と、さまざまなスキルアップに向けた機会の提供は。

答 職員を彩の国ひとづくり広域連合に派遣して、若手・中堅・管理職等の年代や役職に応じた研修を行なっています。また、庁内においては、講師を招いて各種の研修¹や、養成講座を実施しています。



消防団員の確保 優遇制度の 導入

問 現在、新規消防団員の確保は課題である。新聞報道にもあったが、商工会・商店会等と連携して、消防団員に対する優遇・特典等は考えられないか。

答 新聞報道にあった特典を設けている自治体は、全て単独で消防団を有しているところですが、当町の場合は、比企広域での対応となっているので、そちらの福利厚生で考えるものだと捉えています。

マイナンバー制度 周知徹底が 必要

問 国からの情報収集に努め、窓口での対応方法や住民への周知徹底が問われる。また、住民が混乱することがないように、どのように進めていくのか。

答 10月に12桁の個人番号を知らせる通知書を発送し、来年1月から申請に応じてカードを交付します。通知・カード作成・発行など全て、情報システム機構に委託します。町は、カード申請とカード交付時の窓口での対応や案内等がかかりま

和紙活用地域振興事業 どのような 事業展開か

問 具体的にはどのような内容を検討しているのか。

答 ユネスコ関連事業として東秩父村と4つの合同事業を進めます。和紙を加工した特典付きウエルカムカードの作成、ハイキングコースや観光スポット・事業所等を入れた案内地図やポスター作成、外国人向けの案内看板設置やQRコードを使った説明、講習を経て観光施設を中心に案内をいたたく観光案内員養成、などの事業を進めていきます。

観光整備

の周知徹底など手抜きがないように努めていきます。



板碑保存 具体的に どう進める

問 下里・青山の板碑²保存管理について、具体的にどう進めていくのか。

答 長期的な保存管理計画を立てていきます。保存管理のための現地調査を行ないます。新たな補

子育て・教育

保育園のエアコン設置他 施設整備は

問 各保育園のエアコン設置状況は。また老朽化も進んでいる。耐震化は。

答 平成27年度に八和田・大河保育園に設置を

し、全ての保育室にエアコンが入ります。耐震診断が必要な昭和56年以前に建てられた施設は八和田保育園の遊戯室のみですが、全ての保育園で老朽化が進んでいます。アセットマネジメントや総合振興計画策定の中で議論していきます。

がん検診 今後の 取り組みは

問 目標と今後の取り組みは。

答 国の目標である受診率50%を目指し、集中的なキャンペーンを行なっていきたいと思えます。

問 集団がん検診が、夏から秋に変更になったが。

答 毎年、暑い時期に行なっていました。町民からの要望もあり、がん検診月間²である10月にしました。

改善は

問 毎年、すぐにいっぱいになってしまふ。定員

すたむちゃんのひとロメモ

★下里・青山板碑製作遺跡とは

板碑は、中世に広く流通した供養塔。特に割谷地区では、石材採掘から板碑形へ加工するまでの工程が明らかにされ、当時の精神文化を知る上でも貴重な遺跡。合わせて3地区が平成26年6月、国指定遺跡となる。



子どもたちが快適に過ごしやすい (大河保育園)

福祉・医療

パリアおがわ お風呂 無料日の廃止

枠を増やすよう求めてきたが。

答 定員を48人増の240人にしました。しかし予算の枠内でおさめるため助成額³を減らしました。

問 福祉センター運営懇話会での意見がどのように反映されたのか。

答 提言を受け、お風呂の無料日⁴の廃止。定期券に次ぐ割引券の発行、回数券の組みかえ等も実施しなければならぬと考えます。

平成27年度予算

会計名	金額	
一般会計	90億9300万0000円	
特別会計	国民健康保険	39億0623万4000円
	後期高齢者医療	3億4213万3000円
	介護保険	23億5974万5000円
	下水道事業	7億1944万6000円
	農業集落排水事業	7927万3000円
合計	164億9983万1000円	

金額の詳細は「広報おがわ」4月号に掲載されていますので、ご覧ください。

¹平成26年度は、メンタルヘルス研修・同和問題研修・女性職員研修など、6件実施しました。
²国・自治体・企業・関係団体等が相互に連携・協力して一体となった受診勧奨事業の展開をする。

³町の助成額が2万5000円から2万円に減額となりました。
⁴毎月第4木曜日が、お風呂の無料開放日になっています。